

県勢両雄 臨戦モード

光星はつらつ 関係確認

第88回選抜高校野球大会に出場する八学光星と青森山田が17日、甲子園でそれぞれ30分間の練習を行った。両校ナイン

センバツ甲子園練習

とも守備練習などでグラウンドの感触を確かめ、はつらつとした動きを見せた。(二戸康成)



甲子園練習で勢いよくグラウンドに駆けだす光星ナイン=17日

光星は午前9時、この日に甲子園で練習した14校の先陣を切って登場。シートノックで体を動かした後、走者がいる場面を想定した守備練習に大半を割き、内外野の連係を確認した。

投手陣は主戦櫻井一樹らベンチ入りの4人がそれぞれ、マウンドで数球のピッチング。感覚を確認めるように一球一球を投じていた。

櫻井は「どこよりもいい、素晴らしいマウンド。目標は優勝だが、一戦ずつ頑張って投げたい」と決意新た。一塁手の平松和真は「守備をしっかりできて良かった。またここから気を引き締め、本番に向けて頑張る」と力を込めた。

大阪に入ってから守備の連係を始めたばかりなので、できるだけ守る時間を取りたかった」と仲井宗基監督。奥村幸太主将は「憧れていた舞台なので、まずは練習でプレーできてうれしい。練習試合を重ねて状態は良くなっている。早く試合がしたい」と21日の初戦が待ち遠しい様子だった。



甲子園練習の最後にマウンドで投げました。3球だけでしたが気持ちよかったです。甲子園は本当に広くて、お客



甲子園 緊張しそう

光星 ⑰小西正亮(3年)
＝投手、大阪、小阪中出

大阪出身なのでこちらの空気が懐かし、過ごしやすい。宿ではリラックスできてお、試合が近づくとつれてモチベーションが高まっています。

しばらくコントロールの調子が悪かったですが、夜のシフトでピッチングで修正し、だいぶ戻ってきました。登板したら気持ちを前に出し、感謝と支えてくれた人の思いを乗せて、日本一のために投げたいです。